

## 臨床研究 小児の麻酔維持において静脈麻酔と吸入麻酔薬での覚醒に関して比較検討する後ろ向き観察研究

### 1、本研究の意義および目的

小児の静脈麻酔による維持は覚醒時興奮の抑制、術後嘔気嘔吐の抑制の効果があり、年々増加しています。短時間手術で静脈麻酔による維持は吸入麻酔薬による維持と比較して、覚醒時間に差はないとされています。しかし、当院での麻酔終了までの時間は静脈麻酔の維持が長い印象があります。今回、我々は小児の静脈麻酔による麻酔維持は、吸入麻酔による維持よりも麻酔終了までの時間が延長するか調査します。また、覚醒時興奮、嘔気嘔吐の抑制効果などの効果があるとされていますが、どの年齢層にも効果があるのか調査します。

### 2、研究の方法

2016年1月1日から2019年12月31日までに当院で手術を受けた15歳までの患者さんを対象とします。過去の麻酔記録、電子カルテでの調査です。年齢、性別、病名、術式、麻酔方法、手術時間、退室時間等、麻酔等の使用量、手術終了から抜管までの時間、手術終了から麻酔終了までの時間、嘔気嘔吐の発生率、覚醒時興奮の発生率に関して記載事項から調査します。

### 3、研究期間と予定症例数

実施期間は倫理委員会承認日から2022年3月31日を予定しています。予定症例数は1500例ほどです。

### 4、研究結果の公表について

得られた結果は個人が特定できないようすべて匿名化されたうえで誌上にて発表します。

### 5、個人情報に関して

利用する情報からはお名前、住所などの患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。

### 6、本研究への参加を拒否する場合

参加を拒否された場合でも不利益な対応を受けることはありません。参加を拒否される場合は文末の連絡先までご連絡ください

#### 7、研究機関、研究責任者および研究者

(研究機関)

香川大学医学部附属病院手術部

(研究責任者)

所属：香川大学医学部附属病院 手術部

職名：助教

氏名：北村 裕亮

(研究者)

香川大学医学部附属病院手術部

准教授 白杵 尚志

#### 8、連絡先

香川大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック科

北村 裕亮

電話：087-891-2223

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までお電話にてご連絡ください